

編集後記

新たな事務局体制が発足して二年目となる二〇〇三年度、厳しい会計事情の中ではありましたが、おかげさまで本誌第八号の発行が可能となりました。関係者の方々に御礼を申し上げます。

本誌の編集関係のことについてご報告いたします。各論文の末尾には討論部分がついております。これは、研究会開催後、論文によっては相当の時間の経過の後、当日の録音テープをもとにして監修者の責任において編集することになっていきます。監修によりましては必ずしも発表者や参加者の方々の発言そのままではないこともありますし、また記録作成も同様に事後のテープおこしによるため、発言された方のお名前や発言内容を確認できないということもあります。その点、どうかご了承くださいますようお願いいたします。

本誌の発行は教父研究の若手研究者の方々の御協力によってかろうじて実現しております。この会誌の発行を一層確かなものにするためにも、会員の皆様方、読者の方々の今後の更なるご協力をお願いしたく思う次第です。

本誌八号の発行に当たって、昨年度に引き続いて新社社の中山訓男氏のご協力を得られましたことをご報告申し上げます。現下の厳しい出版状況の中で、中山訓男氏の教父研究会に対する深いご理解とご協力のおかげで本誌の発行が実現いたしました。深く感謝申し上げます。次第です。

(第八号編集担当 樋笠勝士)